

いずよう魅力化協議会だより

No.3 令和8年3月6日 島根県立出雲養護学校

2月27日(金)に、令和7年度第3回いずよう魅力化協議会を開催しました。今回は学校評価に係る今年度の重点目標の年度末評価についてと、今年度のいずよう魅力化協議会の振り返りや来年度の学校経営・取組について、委員の皆様よりたくさんのご意見、ご感想をいただきました。

第3回いずよう魅力化協議会の様子

今年度の重点目標の年度末評価について説明し、各部署での成果等について報告しました。今年度の成果と課題を踏まえ、来年度の取組に向けたご意見を委員の皆様よりたくさんいただきました。一部ですが、ご紹介します。

<ご意見等>

- ・支援の共有は今後も大切にしてほしい。
- ・校外からの相談窓口など、さらに整えてほしい。
- ・先生方の日常生活に寄り添いながら、業務量とバランスを整えてほしい。



今年度の振り返りと次年度への橋渡し

<学校からの報告及び説明>

① 令和7年度いずよう魅力化協議会の振り返り

- ・地域の方々による学習支援、地域課題を取り入れた学習の実施等、地域と積極的に関わりながら取組を進めた。
- ・第1回、第2回の協議でいただいたご意見を基に、神楽、海ごみ、有害鳥獣対策他、様々な活動を行った。
- ・成果として、子どもたちの変化・成長はもちろん、教職員の気づきも多く、地域とのつながりの広がりがあった。

② 来年度の学校経営、取組について

- ・グランドデザインにあるように、一人一人が輝く虹がかかる学校になるよう、様々な取組を地域の方々のご協力を得ながら進めてきた。来年度はより深く、持続的な関わりができる学校にしたい。
- ・児童生徒数の増加、人手不足の課題もあるため、働き方改革への取組もより一層求められる。教育の質を保ち、充実を図る。
- ・1月6日の地震を経験し、改めて防災について意識した。日々の危機管理を行い、安心安全な学校を目指す。
- ・防災について、来年度のいずよう魅力化協議会でご意見を伺いたい。

<委員の皆様からのご意見>

- ・探究の学習で関わる中で、生徒の変容を感じた。想定通りにならなかった時のジレンマを生かしていく学びを。
- ・教職員の残業時間はどうか心配している。
- ・高等部生徒との関わり(交流)が単発で終わらないよう、深める学習、つながる学習を。
- ・大胆な働き方改革の取組発信をしていくことが重要。教職員がよりよく働ける改革を。
- ・ふれあいサロンや昔遊びの継続した関わりを期待している。高齢化が進み、後継者不足が地域の課題。
- ・学校で経験したこと、つけた力を社会で生きるために活かしてほしい。そんな社会になってほしい。
- ・地域との協働についてたくさん関わった。来年も協力したい。DX化も大切だが、人と人が関わる時間も大切にほしい。

本協議会は当初、2月9日に開催予定でしたが大雪のため延期し、2月27日に開催しました。

日程変更に応じていただいたり、書面でご意見をお寄せいただいたりと、委員の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。